

週日の説教

金 大烈 神父 2008年7月15日(火)

《悔い改めの恵みを祈りましょう》

今日は、いくつかのユダヤの町の名前が出てきましたが、その中で一番有名なのは、カファルナウムです。カファルナウムは、シリアとエルサレムの真ん中で交易などが行われた町です。ヘブライ語では「なぐさめの町」という意味です。イエス様が一番たくさん宣教の活動を行なわれたのは、このカファルナウムでした。ここでペトロやアンドレア、ヤコブ兄弟に呼びかけられました。また、会堂長の娘の癒しや、100人隊長の僕の癒しなども行われました。しかし、イエス様がそれほど力を入れて叫んだ町であるにもかかわらず、カファルナウムは悔い改めの姿を見せませんでした。今日の福音(マタイ11:20-24)は、それを呪うような内容となっています。

今日の福音(マタイ11:20-24)を読んで私たちが思い出さなければならないのは、受け入れる心が何よりも必要であるということです。受け入れることが出来なければ、悔い改めることはできません。良いものを見た時、たとえそれが自分に恥をかかせるようなものであったとしても、これは正しいのではないかと思い、受け入れようとする気持ちを持つてなければ、私たちには悔い改めることができないと思います。

言葉の勉強をちょっとしてみましょうか。私たちの国である日本も韓国もそして中国も漢字の文化です。漢字の組み合わせによって一つの単語になります。「悔い改める」という言葉は素晴らしい組み合わせでできていると思います。西洋の言葉で、「悔い改める」と似ている意味を持っているものを探してみますと、「後悔する、反省する」くらいの軽さしかありません。しかし、「悔い改める」という言葉が意味するものを解いてみると「悔いる」と「改める」という二つの意味を持つ動詞が組み合わさってできているのが分かります。ですから、悔いることだけに終わらせず、改めなくては、その単語の持つ意味を充足させることができません。後悔するだけ、反省するだけ、悔いるだけで済む言葉ではなく、必ずその反省した点を改めなくては、即ち、直さなくてはならないことを分かっていたいただきたいのです。実際には、直さなければ「悔い改めた」とはいえませんが、新たに直しなさいという意味です。

では、皆様の人生の中で、悔い改めの経験は何回くらいありましたか？そして、もし何回もあったとしても、それを本当になおしましたか？先程申し上げた通り、自分は悪かったと思い、それをなおした場合のみを「悔い改めた」と言います。いつも同じことを繰り返してしまうならば、それは「悔い改めた」ではなくて「反省した」くらいのものになります。

悔い改めは素晴らしいことです。15年前位でしょうか。私が日本に短い滞在をしていたとき、テレビで『猿でも反省は出来る』というコマーシャルがありました。反省は誰にでもできます。しかし、反省したから悔い改めた、とはいえませんが、悔い改めるといのは、とても心が痛むことです。なぜ私はこんなものに過ぎないのかと思い、心がとても痛みます。ある意味では涙がでるし、怖くもあります。どうしたらよいのかと、とても悩みます。こういう経験がなければ、まだ悔い改めの経験はなかったということになります。

では、許しの秘跡は何なのでしょう？許しの部屋には悔い改めの気持ちで来る人もいますし、義務的に入る人もいます。無理やり入らされる人もいます。罰せられるのではないかと思い、嫌な気持ちで入る人もいます。しかし、私たちは、許しの秘跡自体がもっている素晴らしい恵みをわかっています。ただ、悔いて直そうという心で許しの秘跡に与らなければ、結局また、同じことを繰り返してしまうことになると思います。多分、悔い改めるための自分との戦いは死ぬまで続くとおもいます。

悔い改めることを一言でいうと“恵み”です。一番素晴らしい恵みです。望んでも自分ではできないのが悔い改めるということです。私たちが求めなければならないのは、悔い改める心をお許してくださいという気持ちを持つことです。そのような心の働きは、自分の全てを使って動きます。心が働くためには、頭も体も全てが動かなければなりません。これが悔い改めです。方向を完全に変えるということです。「悔い改めました」と軽く言えるようなものではありません。

洗礼者ヨハネが告げたのも、イエス様が告げたのも、その前の預言者達が告げたのも全て“悔い改め”でした。今の時代にマリア様が出現しておっしゃるのも“悔い改め”です。悔い改めは、結局人類にとって最後まで課題です。教会も信徒も信者でない人も、あらゆる全ての人にとって、命がある限り、悔い改めの許しを願う気持ちは必要です。それは恵みによって注がれる心だからです。一度でも悔い改めの経験をしたら、痛みよりも与えられる喜びのほうが大きく、探しても表現の方法が見つからないくらい素晴らしいものなのだと気づくでしょう。

今日のミサを通してもう一度振り返ってみましょう。そして、振り返ることと反省することにより、本当に自分の全てが変わるくらいの信仰的な悔い改めの体験がイエス様のお恵みによってできるように祈りましょう。

ありがとうございました。